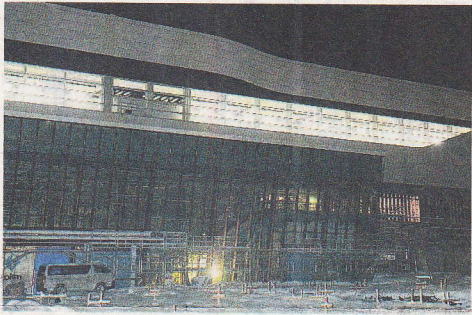


新幹線飯山駅で 作業員3人搬送

一酸化炭素中毒か

6日午後5時35分すぎ、来年3月開業予定の北陸新幹線（長野経由）飯山駅（飯山市）の工事現場で、男性作業員3人が息苦しいとの症状を訴え



ていると、別の作業員から119番通報があった。3人は一酸化炭素中毒の疑いがあり、長野、飯山両市の病院に搬送されたが、命に別条はない。

飯山署によると、3人は県内の建設会社に勤務する長野市の男性（29）、飯山市の男性（34）、中野市の男性（40）。3人は新幹線ホーム下の高さ2メートル幅3メートルほどのスペースで、発電発電機などを使い、手すりなどを設置する工事に当たっていた。同署は、発電発電機の排ガスなどで体調が悪くなった可能性もあるとみて、詳しく調べている。

工事中の作業員男性が搬送された北陸新幹線飯山駅 6日午後7時3分、飯山市